

2009年10月11日(日曜日)

9月補正予算
が成立

経済・雇用対策に重点

9月定例県議会において、一般会計で約152億円の平成21年度9月補正予算が成立しました。

一部に持ち直しの動きが見られる県内の経済情勢ですが、有効求人倍率が低い水準に留まるなど、依然厳しい状況が続いています。そこで9月補正予算では、経済・雇用対策に137億円の予算を計上しました。この結果、当初予算および6月補正予算を加えた今年度の経済・雇用対策の予算規模は累計で718億円となりました。

補正予算全体としては、これまでの対策に引き続き雇用の維持・確保を図る「雇用対策」、「中小企業対策」、「県内経済の活性化」および「県民生活の安心確保」の4点に重点を置くとともに、「福井新元気宣言」に基づく施策についても、さらにステップアップさせていきます。

補正予算とは

県の仕事に必要な予算は、年度の始まる4月までにあらかじめ決めることになっています。年度初めに定める予算であることから、これを「当初予算」といいます。

しかし、実際に仕事を進めていくなかで、必要に応じて新たに予算を追加したり変更する場合があります。これを「補正予算」といいます。



雇用対策

雇用の安定・維持

新たな失業の発生を防ぐため、従業員を一時的に休業させながら雇用を守る努力をしている企業に対し、国の助成に加えて県独自に上乘せ助成を行う全国初の制度として開始した支援策について、増額補正しました。これにより当初予算分と合わせて延べ28,000人の雇用を維持・確保します。

若者の就職支援の充実

来春卒業予定の高校生を対象にした就職説明会を夏に引き続き開催し、高校に配置している就職支援コーディネーターによる求人開拓活動と併せて、高校生の就職支援を充実します。



高校生向けの就職説明会の様子

中小企業対策

資金繰りへの支援

中小企業の経営安定資金の融資枠を、過去最高の500億円分確保しているところですが、国の信用保険料引き上げに対応するため、県の支援割合を引き上げて企業の負担を軽減します。また、借換えに必要な貸付を行う資金繰り円滑化支援資金の要件を緩和し、中小企業の月々の返済負担の軽減を図ります。

県産品の販路拡大

鯖江市のめがね会館内への「めがねミュージアム」などの整備を支援し、産地を訪れる観光客やバイヤーへの眼鏡産業のPRに力を入れます。

県内経済の活性化

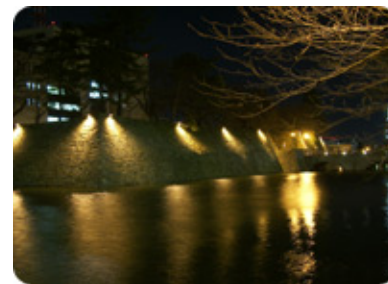
観光営業戦略の強化

◆観光誘客の強化

秋と冬の観光シーズンに合わせて、道の駅や主要駅前など観光客の多い場所で地場産の旬の食材や特産品を販売する「旬の市」を県下一斉に開催します。

◆ふくいブランドの発信

今年12月に福井駅周辺において公共施設や道路のライトアップなどを行い、魅力的な夜景づくりのための検証を行います。また、本県を舞台とした小説や、映画・ドラマのロケなどを誘致し、本県のイメージアップや観光客の増加につなげます。



ライトアップされた福井城址

農林水産業の育成

地産地消を進めるため、地場野菜を販売する「市」や農産物直売所において、野菜ソムリエによる試食会や生産者による対面販売などを行い、福井の伝統野菜を「福井野菜」として積極的に売り込みます。

環境への投資

一般住宅の窓の二重サッシ化や外壁の断熱化などの省エネルギーフォームに対し助成するほか、都市公園の照明設備をLEDを利用したものに切り替えることでCO2を削減するなど、環境に配慮したまちづくりを進めます。

県民生活の安心確保

セーフティネットの充実

失業者の生活のセーフティネットとして、就職活動中の生活資金の無利子貸付などを行うほか、経済的な理由で修学が困難になっている高校生を支援するため、授業料の減免や奨学金貸与を追加して行います。

高齢者介護・障害者福祉の充実

介護分野で働きやすい環境を作るため、職員の賃金引上げや施設内に保育施設の整備を行う事業所に対し県独自の助成を行います。

さらに、障害者の自立支援に向けた対策の追加実施や介護施設の新設・増築への支援を行います。



子育て支援

社会全体で子育てしやすい環境をつくるために本県独自の施策として進めている「ママ・ファースト運動」の一層の普及を図るため、11月を強化月間として「すまいるFカード」の広報などのキャンペーンを展開します。



社会全体で子育てをサポート

自殺対策

自殺を図ろうとする人たちを救うため、身近な場所で相談会を開催するなど気軽に悩みを相談できる体制を整備するほか、民間団体が行う保護活動を支援し、自殺防止に向けた対策を実施します。

がん予防対策

がん検診車や機器の整備に対する支援などによりがん検診体制を充実させ、がん検診受診率の向上を図ります。

新型インフルエンザ対策

感染拡大が懸念される新型インフルエンザについて、原因ウイルスを迅速に特定するための機器を整備し、県民の健康被害を最小限とするよう全力を尽くします。

福井新元気宣言を推進

ふくいっ子学カトップレベルの推進

3年連続で学力全国トップクラスの福井の子どもたちをさらに応援するため、学力を分析する「ふくいっ子学力向上センター」を設け、学校現場の教育活動を支援します。
さらに、専用のホームページを開設するなど本県の教育モデルを全国に発信します。



学力全国トップクラスの福井の子どもたち

福井県立こども歴史文化館の開館



「福井県立こども歴史文化館」が11月28日(土)に開館します。福井ゆかりの人物の特設コーナーを設置し企画展や講習会を定期的開催するなど、子どもたちが郷土の人物を通して、歴史、文化を楽しく学ぶことができる施設にします。

APECエネルギー大臣会合の開催準備

来年の6月19日・20日に福井市で開催される「APECエネルギー大臣会合」の成功に向けて、県、関係市、関係団体が参加する協議会を設け、PR活動やイベントの実施などを行います。

また、APEC参加各国の会合参加者やマスコミ関係者を対象とした外国語版の観光パンフレットの作成などを行い、世界に向けて「ふくいブランド」を発信します。



来年のAPECエネルギー大臣会合開催を記念して行われたフォーラム

9月補正予算の主要施策

(単位:千円)

区分	事業名	予算額
雇用対策	拡 福井県雇用維持緊急助成金の増額	330,000
	新 高校生のための臨時就職面接会開催事業	2,048
中小企業対策	拡 経営安定資金の保証料補給の拡充 (債務負担行為)	55,309 68,417
	拡 資金繰り円滑化支援資金の拡充(要件緩和)	—
	新 眼鏡産業振興拠点整備事業	15,000
県内経済の活性化	【観光営業戦略の強化】	
	新 秋・冬のふくい観光誘客キャンペーン事業	6,500
	新 ふくいナイトビュープラン実証事業	30,000
	新 映画・ドラマ・小説等誘致事業	3,740
	【農林水産業の育成】	
	拡 「地産地消」ネットワーク確立事業	1,478
【環境投資の促進】	新 省エネルギーフォーム促進事業	18,000
	新 都市公園照明LED化事業	13,000
県民生活の安心確保	【セーフティネットの充実】	
	新 失業者等のセーフティネット対策の充実	286,367
	拡 私立高等学校修学補助事業	5,856
	拡 福井県奨学育英資金貸付事業	21,123
	【医療福祉、子育て支援の充実】	
	新 介護職員処遇改善交付金事業	496,065
新 介護事業所内保育施設整備事業	26,666	
新 介護基盤緊急整備等特別対策事業	585,654	
拡 障害者自立支援特別対策事業	206,385	

	新 ふくい子育て環境づくり推進事業(ママ・ファースト運動推進強化事業)	14,023
	新 自殺対策緊急強化特別事業	18,264
	拡 元気長生きがん予防推進事業	72,486
	拡 新型インフルエンザ対策事業	20,847
福井新元気宣言を推進	新 ふくいっ子学カトップレベル推進事業	3,000
	新 福井県立こども歴史文化館事業	5,772
	新 APECエネルギー大臣会合開催推進事業	27,517
	新 APECエネルギー大臣会合を契機としたふくいの魅力発信強化	12,369

新とあるのは、新規事業です。**拡**とあるのは、事業内容の拡充を行った事業です。
(債務負担行為)とは、複数年度にまたがる事業など、将来の財政負担を伴う行為をする際に、来年度以降に必要となる予算を定めるものです。

詳しい内容は、[県のホームページ](#)に掲載されていますので、ご覧ください。

問い合わせ先: 福井県総務部財務企画課 0776(20)0234

 **BACK**